

柏葉会総会によせて

長崎県立佐世保南高等学校

第29代校長 舟越 裕

柏葉会会員の皆さまには、日ごろから母校の発展のために、ご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。皆様の国内外でのご活躍は、本校の誇りであるとともに、生徒・教職員が学ぶ中で心の支えとなっています。

先日は、第36代海上幕僚長齋藤聡様（37回生）にも、本校を表敬訪問いただき、改めて伝統ある南高の校長としての重責を認識したところです。

最初に、学校の現況についてご報告いたします。

まず部活動については、運動部生にとって大きな目標である県高総体が、6月上旬に行われました。注目の男子バレーボール部は、残念ながら大村工業に敗れ準優勝となりました。敗れはしたものの、佐世保市体育文化館での決勝戦では、全校応援の大声援の中で、選手たちは最後まで粘り強く戦い、バレーボール関係者からは、選手たちの頑張りを高く評価していただきました。部員の中には、大学でもバレーボールを続け、将来は指導者となることを希望している者もあり、南高の伝統が引き継がれていくことを大変うれしく思います。また、水泳競技では男子400m自由形で3年生の谷口巧君が1位となるなど、多くの種目で九州大会への出場権を獲得し、陸上競技でも男子走り幅跳及び三段跳で2年生の江原叶真君が北九州大会への出場権を獲得しました。

他の部活動でも、それぞれがベストを尽くして戦っていました。こうした選手一人ひとりの頑張りに加えて、私がうれしかったのは、戦っている選手たちをサポートしている他の部員たちの姿です。部員が一丸となって試合に臨んでいる姿は、若者の清々しさに溢れていました。

文化部では、吹奏楽部と邦楽部が、今夏の全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭）に出場することが決まっています。また、写真部・書道部の生徒が九州高等学校総合文化祭に出場しており、文化部の活動のレベルの高さを結果で示してくれています。

学習を含めた教育活動では、令和5年度に新設された文理探究科の1期生が3年生となります。この2年間、普通科を含めて従来の授業を中心とした学習に加えて、探究学習にも力を入れてきました。生徒は様々なコンテストやイベントに参加する中で、キャリア意識や主体的に学ぶ力を高めてきており、これから大学受験に向けて、しっかりと取り組んでくれることと大いに期待しています。

これまでの探究学習の主な成果については、以下の通りです。

- ・長崎県アントレプレナーシップゼミ 優秀賞
- ・全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」九州・沖縄ブロック 優良賞
- ・マイプロジェクトアワード2024 地域サミット advanced 特別賞
- ・第28回算額をつくろうコンクール 奨励賞

また、第4回未来デザインイノベーションフェア、全国防災ジュニアリーダー育成合宿、九州大学アカデミックフェスティバル2024、Nagasaki Peace-preneur Forum 2025など、様々なイベントに積極的に参加しています。

旧制佐世保中学校開校から117年、創立77年を迎える今、南高を卒業された先輩方も3万2千名を超える数となっております。この歴史と伝統を大事にしながらも南高は新たな一步を踏みだしています。「Think and Act」を今年度の目標として、「自彊自律 和敬礼節」の校訓のもと、「自己の成長を実感できる学校」であり続けるために努力していく所存でございます。これまで同様、母校へのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、柏葉会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。